

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re application of

Keisei YAMAMURO et al.

Serial No. 09/821,049

Filed March 30, 2001

: **ATTN: BOX MISSING PARTS**

: Docket No. 2001-0375A

: Group Art Unit 2643

:

RECEIVER, VIEWING INFORMATION
RECORDING METHOD, VIEWING
INFORMATION PROCESSOR, SERVICE
CONTENTS DECISION METHOD,
INFORMATION ACQUISITION APPARATUS,
INFORMATION ACQUISITION METHOD,
TRANSMITTER/RECEIVER SYSTEM, AND
RECORDING MEDIA

CLAIM OF PRIORITY UNDER 35 USC 119

Assistant Commissioner for Patents,
Washington, DC 20231

Sir:

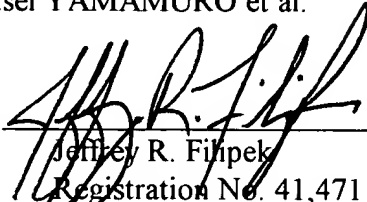
Applicants in the above-entitled application hereby claim the date of priority under the International Convention of Japanese Patent Application No. 2000-095386, filed March 30, 2000, and Japanese Patent Application No. 2000-096201, filed March 31, 2000, as acknowledged in the Declaration of this application.

Certified copies of said Japanese Patent Applications are submitted herewith.

Respectfully submitted,

Keisei YAMAMURO et al.

By


Jeffrey R. Filipek
Registration No. 41,471
for Nils E. Pedersen
Registration No. 33,145
Attorney for Applicants

NEP/JRF/krl
Washington, D.C. 20006-1021
Telephone (202) 721-8200
Facsimile (202) 721-8250
July 6, 2001

THE COMMISSIONER IS AUTHORIZED
TO CHARGE ANY DEFICIENCY IN THE
FEES FOR THIS PAPER TO DEPOSIT
ACCOUNT NO. 23-0975



日本国特許庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日
Date of Application:

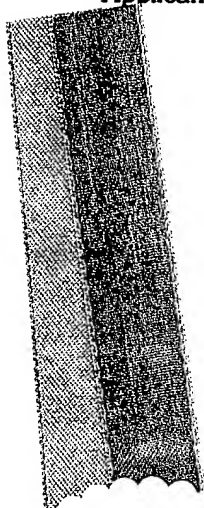
2000年 3月30日

出願番号
Application Number:

特願2000-095386

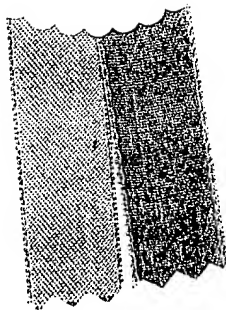
出願人
Applicant (s):

松下電器産業株式会社



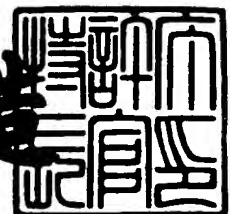
CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2001年 3月30日



特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2001-3025467

【書類名】	特許願
【整理番号】	2032720007
【提出日】	平成12年 3月30日
【あて先】	特許庁長官殿
【国際特許分類】	H04L 21/12
【発明者】	
【住所又は居所】	大阪府門真市大字門真 1 0 0 6 番地 松下電器産業株式会社内
【氏名】	山室 景成
【発明者】	
【住所又は居所】	大阪府門真市大字門真 1 0 0 6 番地 松下電器産業株式会社内
【氏名】	楠見 雄規
【発明者】	
【住所又は居所】	大阪府門真市大字門真 1 0 0 6 番地 松下電器産業株式会社内
【氏名】	下地 達也
【発明者】	
【住所又は居所】	大阪府門真市大字門真 1 0 0 6 番地 松下電器産業株式会社内
【氏名】	園田 泰之
【発明者】	
【住所又は居所】	大阪府門真市大字門真 1 0 0 6 番地 松下電器産業株式会社内
【氏名】	増田 力也
【発明者】	
【住所又は居所】	大阪府門真市大字門真 1 0 0 6 番地 松下電器産業株式会社内
【氏名】	荒居 重

【特許出願人】

【識別番号】 000005821

【氏名又は名称】 松下電器産業株式会社

【代理人】

【識別番号】 100081813

【弁理士】

【氏名又は名称】 早瀬 憲一

【電話番号】 06(6380)5822

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 013527

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9600402

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 情報取得装置、情報取得方法、及び記録媒体

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 情報を管理している情報サーバから情報を取得する情報取得装置であって、

情報を取得する旨の情報である取得情報の記録された着脱可能な記録媒体から取得情報を読み取る取得情報読み取り部と、

前記取得情報読み取り部が取得情報を取得した場合に、情報サーバから情報を取得する情報取得部とを備えた情報取得装置。

【請求項 2】 情報を識別する情報識別子と情報を対にして管理している情報サーバから情報を取得する情報取得装置であって、

情報識別子を有する取得情報の記録された着脱可能な記録媒体から取得情報を読み取る取得情報読み取り部と、

前記取得情報が有する情報識別子で識別される情報を情報サーバから取得する情報取得部とを備えた情報取得装置。

【請求項 3】 請求項 1 または 2 記載の情報取得装置において、

前記取得情報は情報を取得する回数である度数をも有し、

前記情報取得部が情報を取得したときに、前記度数をデクリメントする度数減少部をさらに有し、

前記情報取得部は前記度数が 1 以上のときに、情報を取得することを特徴とする情報取得装置。

【請求項 4】 情報を管理している情報サーバから情報を取得する情報取得方法であって、

情報を取得する旨の情報である取得情報の記録された着脱可能な記録媒体から取得情報を読み取る取得情報読み取りステップと、

前記取得情報読み取りステップで取得情報を取得した場合に、情報サーバから情報を取得する情報取得ステップとを備えたことを特徴とする情報取得方法。

【請求項 5】 情報を識別する情報識別子と情報を対にして管理している情報サーバから情報を取得する情報取得方法であって、

情報識別子を有する取得情報の記録された着脱可能な記録媒体から取得情報を読み取る取得情報読み取りステップと、

前記取得情報が有する情報識別子で識別される情報を情報サーバから取得する情報取得ステップとを備えたことを特徴とする情報取得方法。

【請求項 6】 請求項 4 または 5 記載の情報取得方法において、

前記取得情報は情報を取得する回数である度数をも有し、

前記情報取得ステップで情報を取得したときに、前記度数をデクリメントする度数減少ステップをさらに備え、

前記情報取得ステップで前記度数が 1 以上のときに、情報を取得することを特徴とする情報取得方法。

【請求項 7】 請求項 1 ないし 3 のいずれか一つ記載の情報取得装置に装着する記録媒体。

【請求項 8】 情報識別子及び度数を有する記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【 0 0 0 1 】

【発明の属する技術分野】

本発明は、着脱可能な記録媒体に記録された取得情報により、情報サーバから情報を取得する情報取得装置に関する。

【従来の技術】

従来より、コンビニエンスストアなどに設置された機器にユーザが所定の金額を投入することにより、着脱可能な記録媒体にユーザの選択した音楽等が記録されるというサービスが行われていた。このようにして、着脱可能な記録媒体の所有者は、所望の情報を容易に入手することができていた。

【 0 0 0 2 】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、着脱可能な記録媒体の所有者は、コンビニエンスストア等に設置された機器の保持する以外の音楽等の情報を入手することができず、また、料金を支払わなければ情報を入手することができなかった。

【 0 0 0 3 】

本発明は、かかる問題点に鑑みてなされたものであり、着脱可能な記録媒体に記録された取得情報により、情報サーバから情報を取得することのできる情報取得装置、情報取得方法、及び取得情報の記録された記録媒体を提供することを目的とする。

【 0 0 0 4 】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するため、本発明の情報取得装置は、情報を管理している情報サーバから情報を取得する情報取得装置であって、情報を取得する旨の情報である取得情報の記録された着脱可能な記録媒体から取得情報を読み取る取得情報読み取り部と、前記取得情報読み取り部が取得情報を取得した場合に、情報サーバから情報を取得する情報取得部とを備えたものである。

【 0 0 0 5 】

また、本発明の情報取得装置は、情報を識別する情報識別子と情報を対にして管理している情報サーバから情報を取得する情報取得装置であって、情報識別子を有する取得情報の記録された着脱可能な記録媒体から取得情報を読み取る取得情報読み取り部と、前記取得情報が有する情報識別子で識別される情報を情報サーバから取得する情報取得部とを備えたものである。

【 0 0 0 6 】

また、本発明の情報取得装置は、前記取得情報は情報を取得する回数である度数をも有し、前記情報取得部が情報を取得したときに、前記度数をデクリメントする度数減少部をさらに有し、前記情報取得部は前記度数が 1 以上のときに、情報を取得することを特徴とするものである。

【 0 0 0 7 】

また、本発明の情報取得方法は、情報を管理している情報サーバから情報を取得する情報取得方法であって、情報を取得する旨の情報である取得情報の記録された着脱可能な記録媒体から取得情報を読み取る取得情報読み取りステップと、前記取得情報読み取りステップで取得情報を取得した場合に、情報サーバから情報を取得する情報取得ステップとを備えたことを特徴とするものである。

【 0 0 0 8 】

また、本発明の情報取得方法は、情報を識別する情報識別子と情報を対にして管理している情報サーバから情報を取得する情報取得方法であって、情報識別子を有する取得情報の記録された着脱可能な記録媒体から取得情報を読み取る取得情報読み取りステップと、前記取得情報が有する情報識別子で識別される情報を情報サーバから取得する情報取得ステップとを備えたことを特徴とするものである。

【0009】

また、本発明の情報取得方法は、前記取得情報は情報を取得する回数である度数をも有し、前記情報取得ステップで情報を取得したときに、前記度数をデクリメントする度数減少ステップをさらに備え、前記情報取得ステップで前記度数が1以上のときに、情報を取得することを特徴とするものである。

【0010】

また、本発明の記録媒体は、情報取得装置に装着するものである。

【0011】

また、本発明の記録媒体は、情報識別子及び度数を有するものである。

【0012】

【発明の実施の形態】

(実施の形態1)

以下、本発明の実施の形態1による情報取得装置、及び情報取得方法について図面を参照しながら説明する。

図1は、本実施の形態1による情報取得装置の構成を示すブロック図である。

情報取得装置10は、取得情報読み取り部11と、情報取得部12とを備える。

【0013】

取得情報読み取り部11は、着脱可能な記録媒体13から取得情報を読み取る。ここで、取得情報とは、情報を管理している図示しない情報サーバから情報を取得する旨の情報である。情報取得部12は、取得情報読み取り部11が取得情報を読み取った場合に、通信回線を介して図示しない情報サーバから情報を取得する。なお、通信回線としては、例えば、電話回線がある。

【 0 0 1 4 】

次に、情報取得装置 1 0 の動作、及び情報取得方法について説明する。

図 2 は、着脱可能な記録媒体 1 3 が情報取得装置 1 0 に装着されてからの情報取得装置 1 0 の動作を示すフローチャートである。

【 0 0 1 5 】

ステップ S 1 0 1 において、取得情報読み取り部 1 1 は、情報取得装置 1 0 に装着された記録媒体 1 3 に取得情報が記録されているか否かを判断する。そして、記録されている場合には、ステップ S 1 0 2 に進み、記録されていない場合には、終了となる。

【 0 0 1 6 】

ステップ S 1 0 2 において、取得情報読み取り部 1 1 は、記録媒体 1 3 から取得情報を読み取る。そして、取得情報を読み取った旨を情報取得部 1 2 に出力する。

【 0 0 1 7 】

ステップ S 1 0 3 において、情報取得部 1 2 は、図示しない情報サーバから、情報を取得する。

【 0 0 1 8 】

次に、情報取得装置 1 0 の動作について、具体例を用いて説明する。

以下の具体例においては、情報としての音楽を、取得情報の記録された記録媒体 1 3 を有するユーザが入手する場合について説明する。

【 0 0 1 9 】

まず、ユーザが取得情報の記録された記録媒体 1 3 を、コンビニエンスストアの一角に設置されている情報取得装置 1 0 に装着したとする。

【 0 0 2 0 】

すると、情報取得装置 1 0 の取得情報読み取り部 1 1 は、取得情報が記録媒体 1 3 に記録されていると判断し（ステップ S 1 0 1）、取得情報を読み取って、取得情報を取得した旨を情報取得部 1 2 に出力する（ステップ S 1 0 2）。

【 0 0 2 1 】

情報取得部 1 2 は、取得情報を取得した旨が入力されると、図示しない情報サ

サーバから音楽データを取得し、その取得した音楽データを、図示しない記録部により記録媒体 1 3 に記録する。

【 0 0 2 2 】

このようにして、取得情報の記録された記録媒体 1 3 を情報取得装置 1 0 に装着したユーザは、音楽データの記録された記録媒体 1 3 を入手することができ、ユーザの所有する再生装置に記録媒体 1 3 を装着することにより、音楽を聴くことができる。

【 0 0 2 3 】

以上のように、本実施の形態 1 による情報取得装置 1 0、及び情報取得方法によれば、取得情報の記録された記録媒体 1 3 から取得情報を読み取り、情報サーバから情報を取得することで、情報取得装置 1 0 に所定の金額を支払うことなく情報を入手することができる。また、情報取得装置 1 0 と通信回線を介してつながった情報サーバから情報を入手するため、最新の情報を入手することが可能である。

【 0 0 2 4 】

（実施の形態 2）

以下、本発明の実施の形態 2 による情報取得装置、及び情報取得方法について図面を参照しながら説明する。

図 3 は、本実施の形態 2 による情報取得装置の構成を示すブロック図である。

情報取得装置 2 0 は、取得情報読み取り部 2 1 と、情報取得部 2 2 とを備える。

【 0 0 2 5 】

取得情報読み取り部 2 1 は、着脱可能な記録媒体 2 3 から取得情報を読み取る。ここで、取得情報とは、情報を管理している図示しない情報サーバから情報を取得する旨の情報であり、本実施の形態 2 における取得情報は、情報を識別するための情報識別子を含むものである。情報取得部 2 2 は、取得情報読み取り部 2 1 が取得情報を読み取った場合に、取得情報に含まれる情報識別子で識別される情報を、通信回線を介して図示しない情報サーバから取得する。

【 0 0 2 6 】

次に、情報取得装置 2 0 の動作、及び情報取得方法について説明する。

図 4 は、着脱可能な記録媒体 2 3 が情報取得装置 2 0 に装着されてからの情報取得装置 2 0 の動作を示すフローチャートである。なお、ステップ S 1 0 1 の処理は、実施の形態 1 における取得情報読み取り部 1 1、情報取得部 1 2、及び記録媒体 1 3 が、取得情報読み取り部 2 1、情報取得部 2 2、及び記録媒体 2 3 となった以外、実施の形態 1 の図 2 で示されるフローチャートと同様であり、説明を省略する。

【 0 0 2 7 】

ステップ S 1 1 0 において、取得情報読み取り部 2 1 は、記録媒体 2 3 から情報識別子を含む取得情報を読み取る。そして、読み取った取得情報を情報取得部 2 2 に出力する。

【 0 0 2 8 】

ステップ S 1 1 1 において、情報取得部 2 2 は、取得情報読み取り部 2 1 から入力された取得情報に含まれる情報識別子に対応した情報を、図示しない情報サーバから取得する。

【 0 0 2 9 】

次に、情報取得装置 2 0 の動作について、具体例を用いて説明する。

以下の具体例においては、取得情報の記録された記録媒体 2 3 を有するユーザが、情報サーバから情報を入手する場合について説明する。

まず、ユーザが情報識別子を含む取得情報の記録された記録媒体 2 3 を、コンビニエンスストアの一角に設置されている情報取得装置 2 0 に装着したとする。

【 0 0 3 0 】

図 5 は、記録媒体 2 3 に記録された取得情報の一例を示す図である。

図 5 で示されるように、ユーザの有する記録媒体 2 3 には、取得情報に含まれる情報識別子として、情報識別子「コード 1」と、情報識別子「コード 2」とが記録されている。

【 0 0 3 1 】

すると、情報取得装置 2 0 の取得情報読み取り部 2 1 は、取得情報が記録媒体 2 3 に記録されていると判断し（ステップ S 1 0 1）、取得情報を読み取り、情

報識別子「コード1」と、情報識別子「コード2」とを含む取得情報を情報取得部22に出力する（ステップS110）。

【0032】

図6は、図示しない情報サーバの保持する情報識別子と情報との対応を示した図である。

図6で示されるように、情報サーバには、情報識別子に対応して、音楽データ「音楽1」や、映像データ「映像1」などの情報が格納されている。

【0033】

情報取得部22は、取得情報読み取り部21から入力された情報識別子「コード1」と、「コード2」とを通信回線を介して情報サーバに送信することにより、情報サーバから音楽データ「音楽1」と映像データ「映像1」とを取得し、その取得した音楽データと映像データとを、図示しない記録部により、記録媒体23に記録する。

【0034】

このようにして、取得情報の記録された記録媒体23を情報取得装置20に装着したユーザは、記録媒体23に記録された音楽データと映像データとを入手することができ、ユーザの所有する再生装置に記録媒体23を装着することにより、音楽を聴き、また、映像を視聴することができる。

【0035】

以上のように、本実施の形態2による情報取得装置20、及び情報取得方法によれば、情報識別子を有する取得情報の記録された記録媒体23により、情報を取得する構成としたことにより、実施の形態1と同様の効果に加え、情報識別子に対応した複数の情報を、記録媒体23の所有者であるユーザが取得できる効果も得られる。

【0036】

なお、本実施の形態2では、記録媒体23の取得情報に含まれる全ての情報識別子に対応した情報を情報サーバから入手するとしたが、これは一例であって、記録媒体23の所有者が記録媒体23に記録されている情報識別子からいずれか一つ、あるいは複数の情報識別子を選択し、その選択された情報識別子に対応し

た情報のみを情報サーバから入手してもよい。

【 0 0 3 7 】

(実施の形態 3)

以下、本発明の実施の形態 3 による情報取得装置、及び情報取得方法について図面を参照しながら説明する。

図 7 は、本実施の形態 3 による情報取得装置の構成を示すブロック図である。

情報取得装置 3 0 は、取得情報読み取り部 3 1 と、情報取得部 3 2 と、度数減少部 3 3 とを備える。

【 0 0 3 8 】

取得情報読み取り部 3 1 は、着脱可能な記録媒体 3 4 から取得情報を読み取る。ここで、取得情報とは、情報を管理している図示しない情報サーバから情報を取得する旨の情報であり、本実施の形態 3 における取得情報は、情報を識別する情報識別子と、その情報識別子に対応した度数とを含むものである。また、度数とは、情報を取得することのできる回数を示す値である。

【 0 0 3 9 】

情報取得部 3 2 は、取得情報読み取り部 3 1 が取得情報を読み取り、その取得情報に含まれる情報識別子に対応した度数が 1 以上である場合に、情報識別子で識別される情報を通信回線を介して図示しない情報サーバから取得する。そして、情報サーバから情報を取得すると、取得した情報に対応する情報識別子を、度数減少部 3 3 に出力する。

【 0 0 4 0 】

度数減少部 3 3 は、記録媒体 3 4 に記録された度数のうち、情報取得部 3 2 から入力された情報識別子に対応した度数をデクリメントする。

【 0 0 4 1 】

次に、情報取得装置 3 0 の動作、及び情報取得方法について説明する。

図 8 は、着脱可能な記録媒体 3 4 が情報取得装置 3 0 に装着されてからの情報取得装置 3 0 の動作を示すフローチャートである。なお、ステップ S 1 0 1 の処理は、実施の形態 2 における取得情報読み取り部 2 1、情報取得部 2 2、及び記録媒体 2 3 が、取得情報読み取り部 3 1、情報取得部 3 2、及び記録媒体 3 4 と

なった以外、実施の形態 2 の図 4 で示されるフローチャートと同様であり、説明を省略する。

【0042】

ステップ S 1 2 0 において、取得情報読み取り部 3 1 は、記録媒体 3 4 から情報識別子と、その情報識別子に対応した度数とを含む取得情報を読み取る。そして、読み取った取得情報を情報取得部 2 2 に出力する。

【0043】

ステップ S 1 2 1 において、情報取得部 3 2 は、入力された取得情報に含まれる度数が 1 以上であるか否かを判断する。そして、度数が 1 以上である場合には、ステップ S 1 2 2 に進み、そうでない場合には、終了となる。

【0044】

ステップ S 1 2 2 において、情報取得部 3 2 は、取得情報読み取り部 3 1 から入力された取得情報に含まれる情報識別子により、図示しない情報サーバから、その情報識別子に対応した情報を取得する。そして、取得した情報に対応する情報識別子を、度数減少部 3 3 に出力する。

【0045】

ステップ S 1 2 3 において、度数減少部 3 3 は、記録媒体 3 4 の取得情報に含まれる度数のうち、情報取得部 3 2 から入力された情報識別子に対応する度数をデクリメントする。

【0046】

次に、情報取得装置 3 0 の動作について、具体例を用いて説明する。

以下の具体例においては、取得情報の記録された記録媒体 3 4 を有するユーザが、情報サーバから情報を入手する場合について説明する。

【0047】

まず、ユーザが情報識別子を含む取得情報の記録された記録媒体 3 4 を、コンビニエンスストアの一角に設置されている情報取得装置 3 0 に装着したとする。

【0048】

図 9 は、記録媒体 3 4 に記録された取得情報の一例を示す図である。

図 9 で示されるように、ユーザの有する記録媒体 3 4 には、取得情報に含まれ

る情報識別子として、情報識別子「コード1」が記録されており、その情報識別子「コード1」に対応して、度数「3」が記録されている。

【0049】

すると、情報取得装置30の取得情報読み取り部31は、取得情報が記録媒体34に記録されていると判断し（ステップS101）、取得情報を読み取り、情報識別子「コード1」と、度数「3」とを含む取得情報を情報取得部32に出力する（ステップS120）。

【0050】

そして、度数が「3」であるので、情報取得部32は、度数が1以上であると判断する（ステップS121）。ここで、図示しない情報サーバが図6に示される情報を有しているとする、情報取得部32は、取得情報読み取り部31から入力された情報識別子「コード1」を情報サーバに送信することにより、情報サーバから、音楽データ「音楽1」を取得し、その取得した音楽データを、図示しない記録部により、記録媒体34に記録する。

【0051】

また、情報取得部32は、取得した音楽データに対応する情報識別子「コード1」を度数減少部33に出力する（ステップS122）。そして、度数減少部33は、記録媒体34の保持する情報識別子「コード1」に対応した度をデクリメントし、情報識別子「コード1」に対応した度は「2」となる。

【0052】

このようにして、取得情報の記録された記録媒体34を情報取得装置30に装着したユーザは、記録媒体34に記録された音楽データを入手することができ、ユーザの所有する再生装置に記録媒体34を装着することにより、音楽を聴くことができる。また、記録媒体の保持する情報識別子「コード1」に対応する度は、まだ「2」であるため、ユーザは、さらに2回、音楽データを入手することができる。例えば、情報識別子「コード1」により取得することのできる音楽データの内容が、毎月変更される場合には、取得できる音楽データの内容が変更されたたびにユーザが音楽データを取得することにより、記録媒体34を有するユーザは、さらに2回、新しい音楽データを入手することができる。

【0053】

以上のように、本実施の形態3による情報取得装置30、及び情報取得方法によれば、情報識別子と度数とを有する取得情報の記録された記録媒体34により、情報を取得する構成としたことにより、実施の形態2と同様の効果に加え、記録媒体34の所有者は、度数で示される回数分、その度数と対になった情報識別子に対応した情報を取得することができる効果も得られる。

【0054】

なお、本実施の形態3による記録媒体34には、図9で示されるように、単数の情報識別子とそれに対応した度数とを含む取得情報が記録されているとしたが、これは一例であって、例えば、複数の情報識別子とそれに対応した度数とを含む取得情報が記録媒体34に記録されていてもよく、その場合には、記録されている情報識別子の中から、いずれか一つ、あるいは複数を選択して、選択された情報識別子に対応した情報のみを情報サーバから入手してもよい。

【0055】

また、実施の形態2及び3において用いられる情報識別子に対応する情報が、例えば音楽のときには、その情報識別子が、例えば8桁の数字から構成され、前半の4桁で音楽の歌手名を指定し、後半の4桁で音楽の曲名を指定するように情報識別子を構成してもよい。

【0056】

また、実施の形態1ないし3において、記録媒体13、23、34に取得情報が記録される過程について、簡単に説明しておく。

【0057】

記録媒体13、23、34の所有者が、放送を受信する受信装置により、例えばファーストフード会社のCM等の番組を受信したとする。そして、その受信装置に記録媒体13、23、34を装着し、リモコンの記録ボタンを押すことにより、その放送を視聴した旨を記録媒体13、23、34に記録する。このようにして記録された情報が、取得情報である。ユーザが取得情報の記録された記録媒体13、23、34を受信装置から取り出して、情報取得装置10、20、30に装着することにより、例えば、情報サーバからファーストフード会社の提供す

る情報を取得することができる。なお、取得情報が記録媒体13、23、34に記録される過程の説明は、一例であって、上述の説明以外の方法により、取得情報が記録媒体13、23、34に記録されてもよい。

【0058】

また、実施の形態3では、取得情報に度数が含まれるとしたが、この度数は、特定の番組、例えばファーストフード会社のCMを視聴した回数を示す視聴回数に対応するものとしてもよい。すなわち、記録媒体13、23、34には、視聴回数が記録され、例えば、視聴回数「10」が度数「1」となるように情報取得部32が換算して、記録媒体に記録される度数が1以上であるか否かを判断し、また、度数減少部33は、記録媒体に記録された度数を減少させるときには、度数を1減少させる代わりに、視聴回数を10減少させるようにしてもよい。さらに、換算された度数を、記録媒体13、23、34に記録された視聴回数に対応づけて記録してもよい。例えば、視聴回数「10」が度数「1」に対応するとして、記録媒体13、23、34に視聴回数「34」が記録されている場合には、その視聴回数に対応して、度数「3」が記録されることになる。

【0059】

また、実施の形態1ないし3による取得情報の記録された記録媒体13、23、34において、上述の説明のように、取得情報の記録されていない記録媒体13、23、34を受信装置に装着し、番組を視聴することにより取得情報を記録媒体13、23、34に記録してもよく、また、所望の取得情報の記録された記録媒体13、23、34を購入することにより、取得情報の記録された記録媒体13、23、34を入手してもよく、あるいは、ユーザの有する記録媒体13、23、34に所定の料金を支払うことによりユーザの望む取得情報が記録されるようにしてもよい。

【0060】

また、取得情報が記録媒体13、23、34に記録される方法としては、上述の説明以外にも、ユーザが受信装置において番組等を視聴しているときに、その受信装置に記録媒体13、23、34を装着し、リモコンの記録ボタンを押すことにより、記録媒体13、23、34にユーザの視聴している番組に関連した視

聴情報が記録されるようにしてもよい。例えば、ユーザが歌番組を視聴している場合に、記録媒体 1 3、2 3、3 4 を受信装置に装着してリモコンの記録ボタンを押したとすると、記録媒体 1 3、2 3、3 4 にその歌番組中で流れた曲に関連する視聴情報が記録され、ユーザがその記録媒体 1 3、2 3、3 4 をコンビニエンスストア等に設置されている情報取得装置 1 0、2 0、3 0 に挿入することにより、ユーザの視聴した歌番組で流れた曲を入手することができる。この場合、ユーザが情報としての曲を入手するのは、有償、無償を問わない。

【0061】

また、実施の形態 1 ないし 3 による記録媒体 1 3、2 3、3 4 に記録された取得情報は、暗号化されていてもよい。この場合、取得情報読み取り部 1 1、2 1、3 1 は、その暗号を解除して取得情報を読み込むことのできるものである。このように、取得情報を暗号化することにより、記録媒体 1 3、2 3、3 4 に記録された取得情報が書き換えられることを防止することができる。

【0062】

また、記録媒体 1 3、2 3、3 4 としては、例えば、フラッシュメモリなどの不揮発性メモリ、フロッピーディスク、磁気ディスク、光ディスク、光磁気ディスク、DVD-RAMなどが用いられる。

【0063】

また、実施の形態 1 ないし 3 における情報サーバは、単数であっても、複数であってもよい。情報サーバが複数ある場合には、取得情報には、情報識別子等に対応して、さらに、取得先情報が記録される。

【0064】

図 1 0 は、取得先情報の記録された記録媒体の一例を示す図である。

図 1 0 で示されるように、記録媒体には、情報識別子に対応して取得先情報としての情報サーバ名が記録されている。この取得先情報で情報を取得する情報サーバを指定することにより、複数の情報サーバから情報を取得することができる。このように、複数の情報サーバから情報を取得することで、記録媒体の所有者は、さらに幅の広い情報を入手することができる。ここで、取得先情報としては、図 1 0 で示される情報サーバ名以外にも、例えば、URLなどを用いることが

できる。

【 0 0 6 5 】

また、実施の形態 1 ないし 3 では、情報サーバは情報取得装置 1 0、2 0、3 0 と位置的に離れた場所に存在し、情報サーバと情報取得装置 1 0、2 0、3 0 とは、通信回線でつながっているとしたが、これは一例であって、例えば、情報取得装置 1 0、2 0、3 0 の内部、あるいは情報取得装置 1 0、2 0、3 0 の近傍に情報サーバがあってもよい。さらに、情報サーバと情報取得装置 1 0、2 0、3 0 とが通信回線でつながっている場合であっても、頻繁に取得される情報は、情報取得装置 1 0、2 0、3 0 の有する図示しない情報記録部に記録しておき、通信回線を介することなく、頻繁に取得される情報を記録媒体に記録できるようにしてもよい。

【 0 0 6 6 】

また、実施の形態 1 ないし 3 における具体例では、情報取得装置 1 0、2 0、3 0 は、コンビニエンスストアの一角に設置されているとしたが、これは一例であって、情報取得装置 1 0、2 0、3 0 は、各家庭、あるいは各企業等に備えているものであってもよく、また、コンビニエンスストア以外の、不特定多数の人々が利用できる場所に設置されているものであってもよい。

【 0 0 6 7 】

また、情報取得部 1 2、2 2、3 2 が情報サーバから取得した情報は、上記各実施の形態での説明のように、記録媒体 1 3、2 3、3 4 に記録されてもよく、あるいは、情報取得装置 1 0、2 0、3 0 がモニターやスピーカ等を備えることにより、ユーザが音楽や映像等の情報を情報取得装置 1 0、2 0、3 0 で視聴することができるようにしてもよく、さらに、記録媒体 1 2、2 3、3 4 以外の記録媒体をユーザが情報取得装置 1 0、2 0、3 0 に挿入することにより、その記録媒体に情報が記録されるようにしてもよい。なお、記録媒体 1 2、2 3、3 4、あるいは記録媒体 1 2、2 3、3 4 以外の記録媒体に記録された情報に対して、その情報を他の記録媒体に 1 回、または所定の回数だけコピーできる、あるいは他の記録媒体にはまったくコピーできないといったコピーガードをかけてもよい。

【 0 0 6 8 】

また、実施の形態 1 ないし 3 による情報取得装置 1 0、2 0、3 0 の取得する情報は、上記各実施の形態で説明した映像や音楽等に限定されるものではなく、データとしての情報であれば、いかなるものであってもよい。

【 0 0 6 9 】

また、実施の形態 1 ないし 3 による情報取得装置 1 0、2 0、3 0 の各構成要素は、プログラム制御によるソフトウェアで構成してもよく、ハードウェアで構成してもよい。

【 0 0 7 0 】

また、実施の形態 1 ないし 3 による情報取得方法を実現するプログラムを記録した記録媒体を、システム、あるいは装置に供給し、そのシステム、あるいは装置の CPU 等の主処理部が該記録媒体に格納されたプログラムを読み出し実行することによっても、上記各実施の形態で説明した効果と同様の効果を得ることができる。

【 0 0 7 1 】

なお、プログラムを記録する記録媒体としては、例えば、フロッピーディスク、ハードディスク、光ディスク、磁気ディスク、光磁気ディスク、CD-ROM、DVD-RAM、磁気テープ、パンチカード、不揮発性のメモリカード、ROM等を用いることができる。

【 0 0 7 2 】

【発明の効果】

本発明の情報取得装置、および情報取得方法によれば、取得情報の記録された記録媒体から取得情報を読み取り、情報サーバから情報を取得することで、所定の金額を支払うことなく情報を入手することができる。また、情報取得装置と通信回線を介してつながった情報サーバから情報を入手するため、最新の情報を入手することが可能である。

【 0 0 7 3 】

また、情報識別子を含む取得情報の記録された記録媒体により情報を取得することで、情報識別子に対応した情報を、記録媒体の所有者であるユーザが取得で

きる効果も得られる。さらに、ユーザが取得する情報を選択することもできる。

【 0 0 7 4 】

また、情報識別子と度数とを含む取得情報の記録された記録媒体により、情報を取得することで、記録媒体の所有者であるユーザは、度数で示される回数分、その度数と対になった情報識別子に対応した情報を取得することができる。

【 0 0 7 5 】

また、本発明の記録媒体によれば、当該記録媒体には、情報を取得する条件となる取得情報が記録されることで、ユーザが所定の金額を払うことなく、前記取得情報のみにより情報を取得することができる効果が得られる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明の実施の形態 1 による情報取得装置の構成を示すブロック図

【図 2】

本発明の実施の形態 1 による情報取得装置の動作を示すフローチャート

【図 3】

本発明の実施の形態 2 による情報取得装置の構成を示すブロック図

【図 4】

本発明の実施の形態 2 による情報取得装置の動作を示すフローチャート

【図 5】

記録媒体に記録された取得情報の一例を示す図

【図 6】

情報サーバの有する情報の一例を示す図

【図 7】

本発明の実施の形態 3 による情報取得装置の構成を示すブロック図

【図 8】

本発明の実施の形態 3 による情報取得装置の動作を示すフローチャート

【図 9】

記録媒体に記録された取得情報の一例を示す図

【図 1 0】

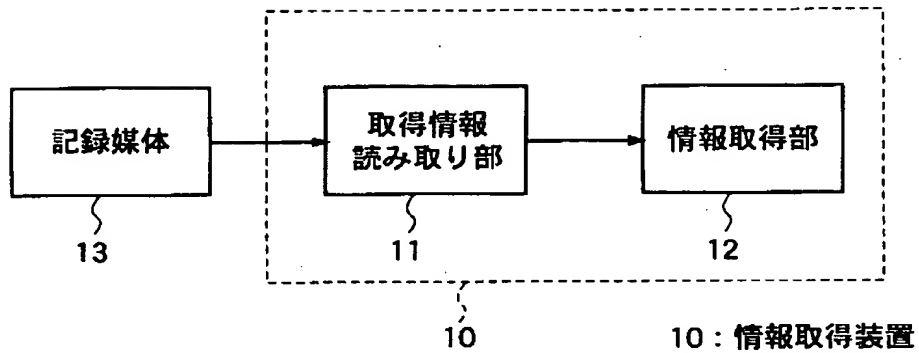
記録媒体に記録された取得情報の一例を示す図

【符号の説明】

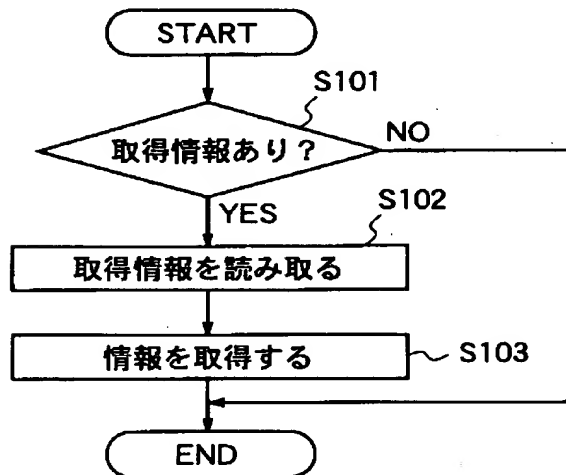
- 3 0 情報取得装置
- 3 1 取得情報読み取り部
- 3 2 情報取得部
- 1 3、1 2、3 4 記録媒体
- 3 3 度数減少部

【書類名】 図面

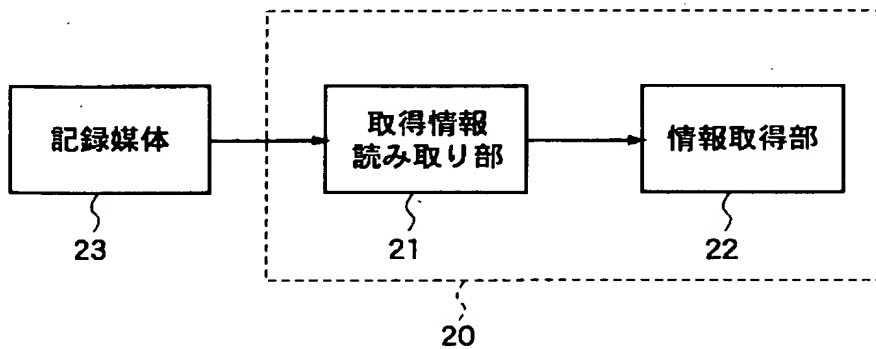
【図 1】



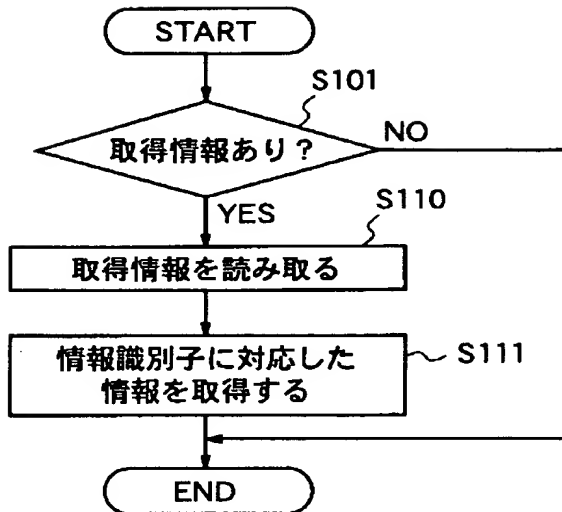
【図 2】



【図 3】



【図 4】



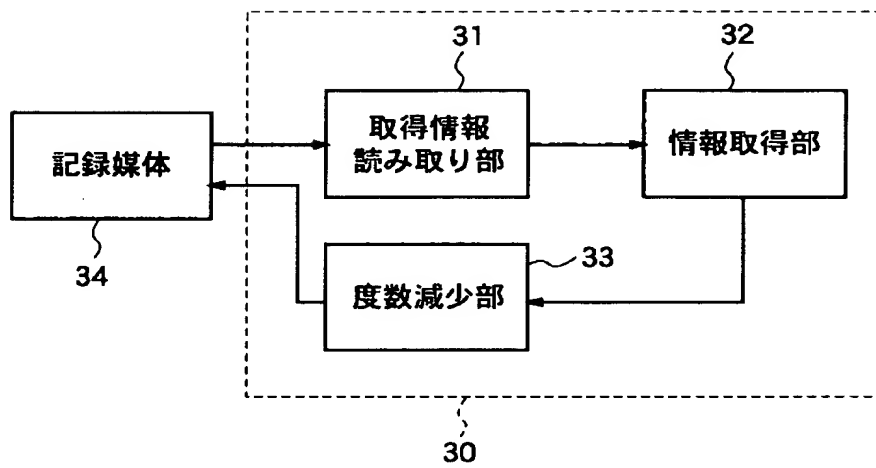
【図 5】

情報識別子
コード1
コード2

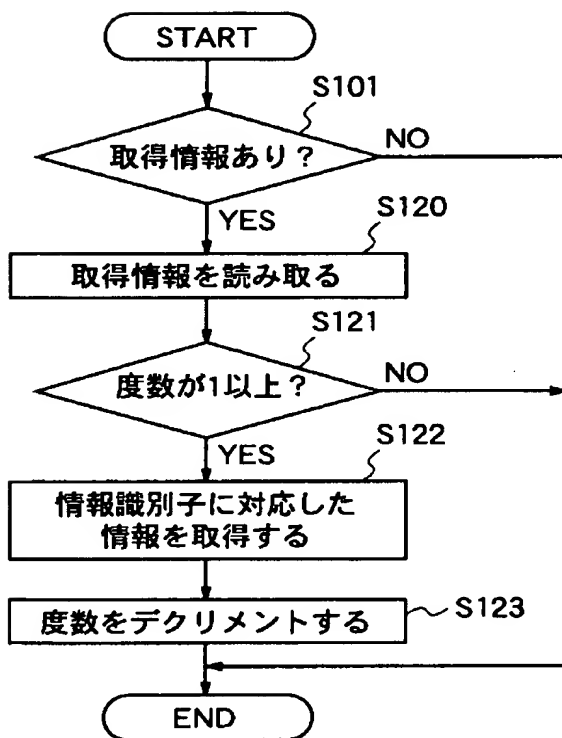
【図 6】

情報識別子	情報
コード1	音楽1
コード2	映像1
コード3	音楽2
⋮	⋮

【図 7】



【図 8】



【図 9】

情報識別子	度数
コード1	3

【図 1 0】

情報識別子	取得先情報
コード1	情報サーバA
コード2	情報サーバB
⋮	⋮

【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 着脱可能な記録媒体に記録された取得情報により、情報サーバから情報を取得することのできる情報取得装置を提供することを目的とする。

【解決手段】 情報を取得する旨の情報である取得情報の記録された着脱可能な記録媒体 1 3 から取得情報を読み取る取得情報読み取り部 1 1 と、取得情報読み取り部 1 1 が取得情報を取得した場合に、情報サーバから情報を取得する情報取得部 1 2 とを備える。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [0 0 0 0 0 5 8 2 1]

1. 変更年月日	1 9 9 0 年 8 月 2 8 日
[変更理由]	新規登録
住 所	大阪府門真市大字門真 1 0 0 6 番地
氏 名	松下電器産業株式会社